

NEWS RELEASE

2015 - 02

2015.5.18

車掌が運行状況確認用の携帯情報端末を携行して乗務します 最新の運行状況を車掌にメール配信することで、より確実な情報提供に努めます

阪急電鉄では、お客様への案内サービスのさらなる充実を目的として、6月1日(月)から、車掌がスマートフォン型の携帯情報端末を携行して乗務します。

当社ではこれまで、列車運行に遅延や運休が生じた場合には、列車無線(音声)を通じて共有された情報をもとに、車掌がお客様に情報を提供してまいりましたが、今後は、これに加えて携帯情報端末に電子メールによる文字情報を配信し、確実に情報共有できるようにすることで、お客様へのご案内サービスのさらなる向上を図ります。

なお、この携帯情報端末は、大規模災害発生時等においても、お客様に適切なご案内を行うための緊急連絡手段のひとつとして、活用することができます。

1. 実施時期

2015年6月1日(月)

2. 対象路線、対象者

阪急電鉄全線(神戸高速線を含む)の車掌

ワンマン運転線区は対象路線とはいたしません。

3. 携帯情報端末の仕様と主な機能

スマートフォン型情報端末(5.1インチ)

遅延、運休等の最新の運行状況に関するメール受信機能

通話機能(緊急時等の使用を想定)

資料の閲覧機能

振替輸送の取扱いを含め、異常時・緊急時の対応に

必要な資料を閲覧できるようにします。



携帯情報端末(イメージ)

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ